

# 2024 年度 英語論文セミナー2024 オンライン講座（英語） アンケート調査結果報告書

- 1)調査目的 本調査は、英語論文セミナー2024 において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 英語論文セミナー2024 受講者
- 3)調査方法 英語論文セミナー2024 終了後、Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2024 年 10 月 8 日（火）～11 月 1 日（金）

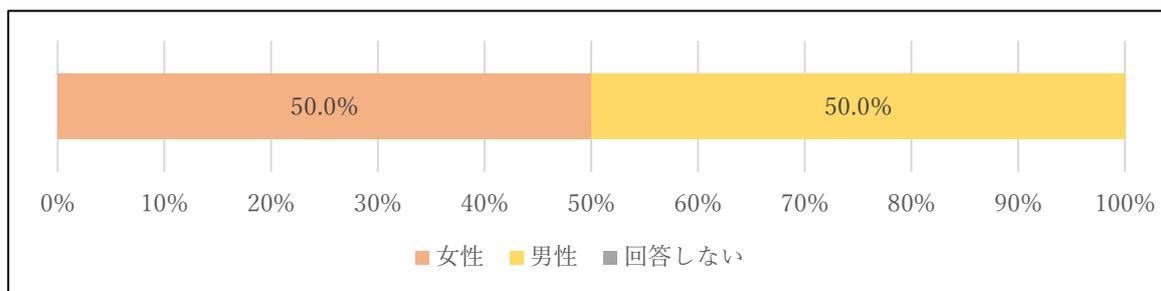
## ■ アンケート集計結果

回答数 対象者 103 名 回答者 12 名 回答率 11.7%

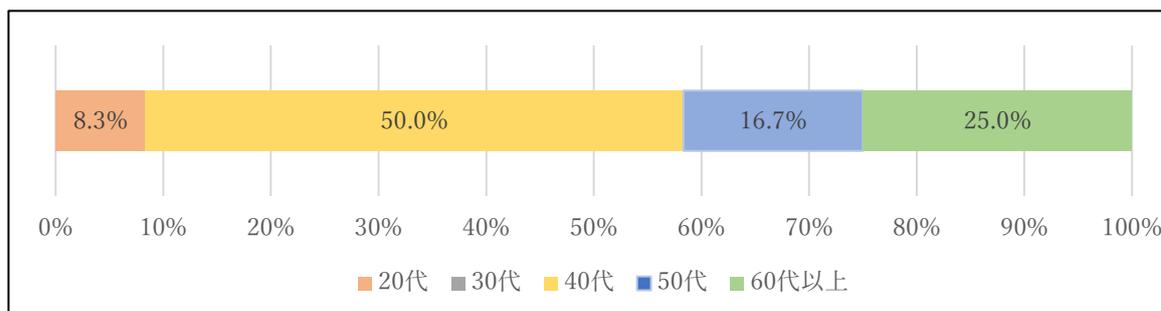
## ■ アンケート調査結果

問. 回答者の属性

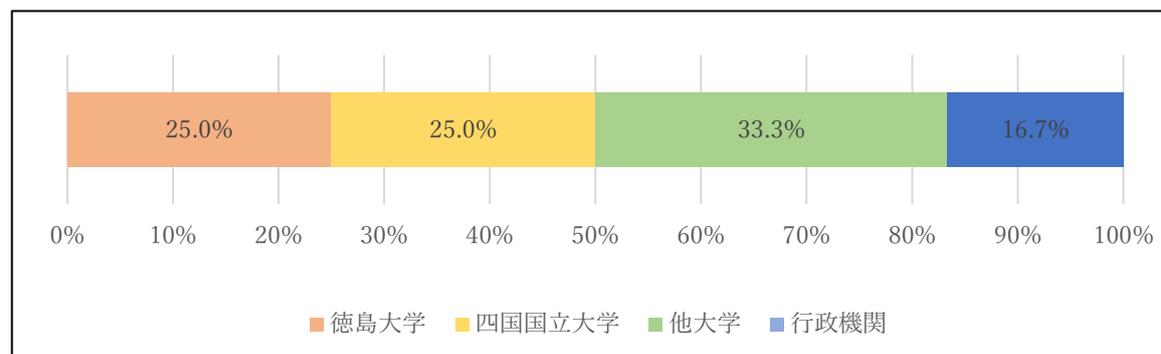
### ◆ 性別



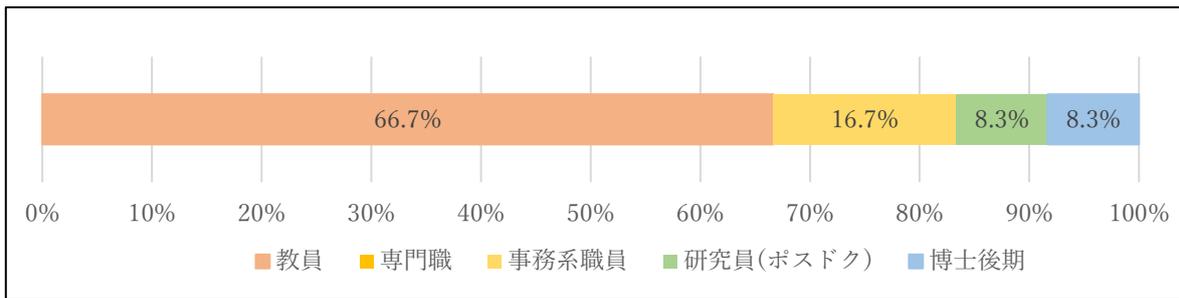
### ◆ 年齢



### ◆ 所属

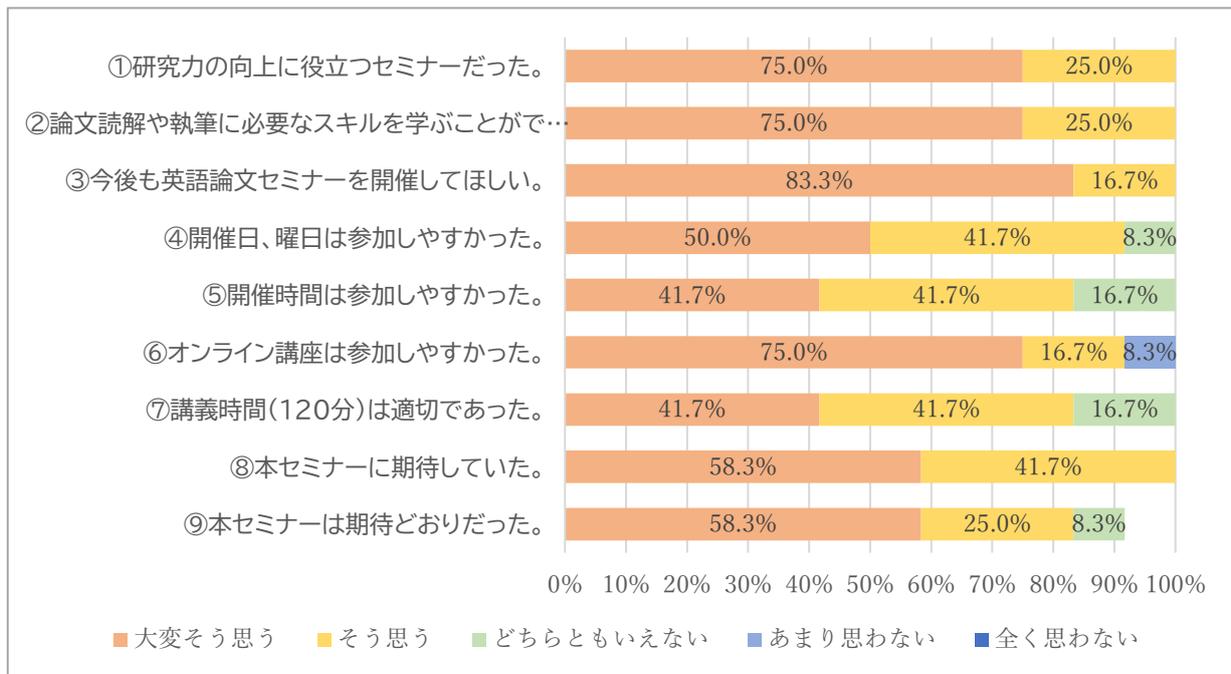


◆職種



回答者の性別では、女性が 50.0%で男性が 50.0%であった。年齢は 20 代～30 代が 8.3%で、40 代以上が 91.7%であった。所属は、徳島大学が 25.0%で、他機関等の学外からは 75.0%であった。職種は、教員が 66.7%と最も多く、次いで専門職が 16.7%であった。

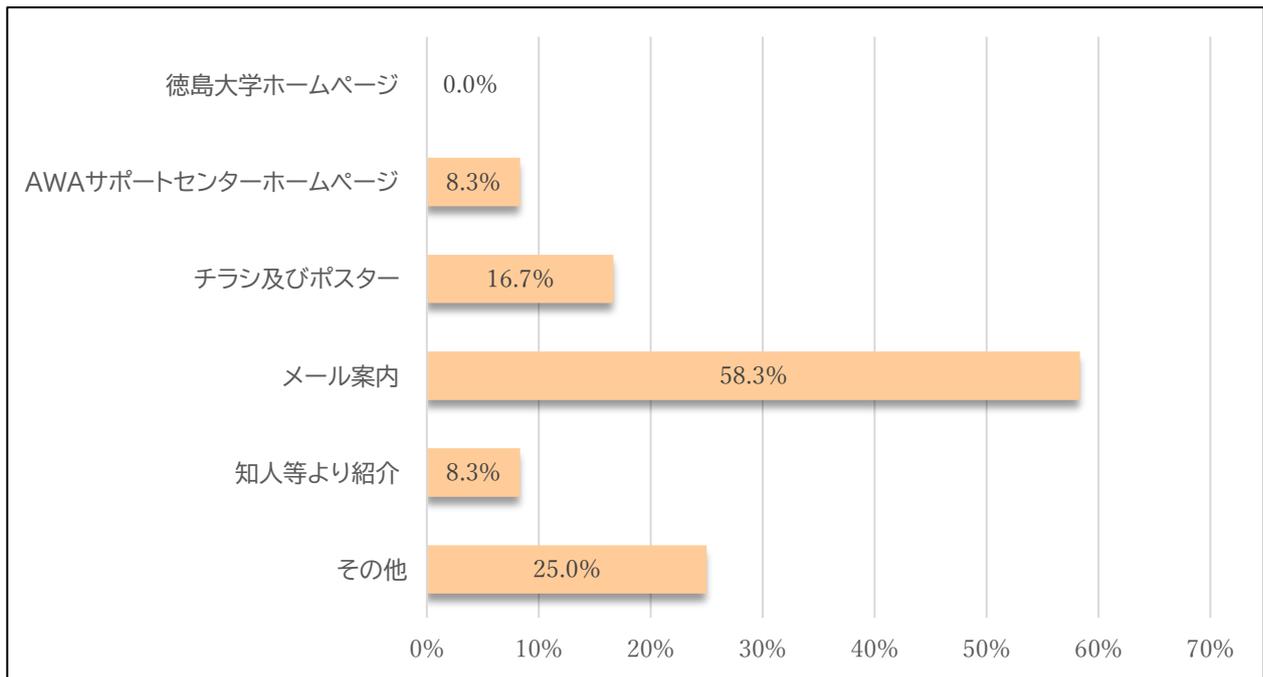
問. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。



『研究力の向上に役立つセミナーだった』と『論文読解や執筆に必要なスキルを学ぶことができた』に対して、『大変そう思う』、『そう思う』がそれぞれ 100%と回答し、有意義なセミナーとなった。また、『今後も英語論文セミナーを開催してほしい』に対しても、100%が『大変そう思う』、『そう思う』と回答しており、ニーズが非常に高いことが分かった。

開催形式については、それぞれの項目の「参加のしやすさ」が、『開催日、曜日』で 91.7%、『開催時間』で 83.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、オンデマンド配信で後日視聴できることが高評価であった。『講義時間(120分)は適切であった』については肯定的回答が 83.4%であった。

問. 英語論文セミナー2024 の開催はどのように知りましたか。



開催の広報効果については、『メール案内』が 58.3%と最も高く、『チラシ及びポスター』が 16.7%、『AWA サポートセンターホームページ』は 8.3%であった。

リピーターが多いため、メール案内が最も有効な周知方法ではあるが、多くの人に広く知ってもらうにはチラシやHPでの周知も必要となってくる。